

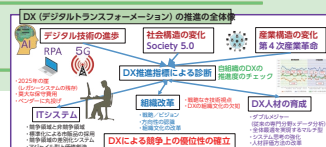
# DX (デジタルトランスフォーメーション) 推進セミナー

～自社のDX推進レベルの理解と改善方法の検討ができる～

開催日時 **2025年 6月19日 (木)** **オンライン**  
**2026年 1月28日 (水)** **オンライン** 各回とも 10:00～17:00

対 象  
 ・DXの真の意味を理解したい方  
 ・DX推進のノウハウを理解したい方  
 ・企業や組織改革推進の担当者 (DX推進リーダー) また、その関係者  
 ・組織の管理職や改善推進者  
 ・DXをユーザー視点で推進したい方  
 ・自組織のDXの推進度を診断により客観的に理解し、不足している点を明確にしたい方

講 師 高安 篤史 合同会社コンサルス 代表 中小企業診断士



## ■ 本セミナーのねらい

DX (デジタルトランスフォーメーション)、第4次産業革命、Society 5.0の流れの中で、改革に取り組んでいる企業は多数存在します。しかしながら、真の意味でのDXに成功している企業は少なく、DXの意味すら理解できていない企業も多いのも事実です。DXは、一部の部門や担当者が進めてもうまくいかず、関係する担当者すべてが、その本質を理解する必要があります。特に組織文化などを起因とする阻害要因などを理解しないと、DX改革を掲げてもう一向に良くなりません。特にITベンダー視点では従来と同様にITシステムへの投資対効果は望めず、さらに負の遺産が増えることになるため、ユーザー視点でのDXの理解が必要です。

DXに関しては、首相官邸、経済産業省、日本経済団体連合会 (経団連) などから資料が多数発行されていますが、そのまま読んでも本質を理解できないことが多く、また誤った方向へ進む可能性もあります。当学習では、DXの推進がなぜうまくいかないのか?を、その失敗事例を含めて要因を分析し、真のDXを推進するためのノウハウを習得します。特に、経済産業省が発行している「DX推進指標」をもとに、組織のDXの推進度をチェックし、不足している点が明確になるような内容 (裏面に診断結果のサンプルを表示します) であり、セミナー受講後、自社や自組織へ実践的な展開ができるようになっています。

## ■ プログラム

10:00～17:00 (昼食 12:00～13:00)

### 1 DX (デジタルトランスフォーメーション) とは? ～DXの概要を把握し、自社に関連する社会/ 産業の変革の重要性を理解する～

- ・DXの定義
- ・DXと第4次産業革命/Society 5.0 /SDGs
- ・DXに関連する技術の俯瞰 (IoT/5G/AI/RPA/クラウドなど)
- ・DX推進の課題と対応の考え方 (アジャイル、全体最適、コラボレーション、真の顧客視点)
- ・従来とDXの方向性の違い (社会/産業、企業/組織、個人)

### 2 DX推進の阻害要因 ～ユーザー企業によくあるDX推進の阻害要因を理解する～

- ・慣れ親しんだ“紙”と“ハンコ”の文化
- ・皆で顔を合わせて満足する会議/会議録作成に時間をかける習慣
- ・皆で承認する習慣と責任の不明確性/失敗を恐れて何もしない企業
- ・ITシステムはカスタマイズして利用/ITベンダーの提案を鵜呑み
- ・現場業務が理解できていない社内の情報システム部門
- ・目的が不明確なトップダウンによるDX推進の指示
- ・実データを分析しても過去の成功体験からしか決断できない管理職

### 3 DX推進の失敗例の分析 ～DX推進の失敗事例を通じて 「なぜ」問題が発生したのかの根本原因を考える～

- ・DX推進の実態 (役割別の問題点)
- ・コロナ禍による強制リモート業務がDX?

- ・DXガイドラインにおける失敗事例の真の原因 (従来の強みが弱みに変化)
- ・戦略 (ビジョン) なき技術起点
- ・社内の情報システム部門とベンダー企業の依存
- ・DXに対する組織文化の欠如 (過去の成功体験が影響)
- ・2025年の崖 (レガシーシステムの残存)
- ・VUCA (ブーカ) 時代のDX計画の失敗
- ・最新DXレポート/デジタルガバナンスコード

### 4 DX推進の自己診断とノウハウの習得 ～DX推進の失敗事例から得られた知見をもとに 自社におけるDXの推進方法を検討する～

- ・DXの実態調査結果 (日本能率協会の調査結果を基にした分析)
- ・現場主導の業務改善⇒トップダウンの抜本的改革⇒継続的変革
- ・DX時代の経営戦略/ビジョン (競争領域と非競争領域)
- ・DX時代の組織改革 (データ駆動型組織へ)
- ・DX時代の人材育成 (ダブルメジャーと全体最適を実現するマルチ型人材の育成)
- ・DX時代のITシステムのあり方 (アジャイル型と価値創出、要件定義)
- ・DX推進指標 (デジタル改革のための評価指標) の活用
- ・**演習** DX推進指標による自己診断 (自組織のDXの推進度のチェック)  
\* セミナー内で自組織の診断が可能になり、診断結果が得られます
- ・DX推進指標による自己診断をもとにした今後の対応方法
- ・日本発すりあわせDXの推進

\* プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



# DX(デジタルトランスフォーメーション) 推進セミナー

## 講師紹介(敬称略)

### 高安 篤史

合同会社コンサルンス 代表  
中小企業診断士

早稲田大学理工学部工業経営学科卒業後、大手電機メーカーで20年以上に渡って組込みソフト開発に携わり、プロジェクトマネージャ/ファームウェア開発部長を歴任する。DFSS (Design for Six Sigma: シックスシグマ設計) に代表される信頼性管理技術やIoTビジネスモデル構築に関するコンサルタントとしての実績及び自身の経験から「真に現場で活躍できる人材」の育成に大きなこだわりを持ち、その実践的な手法は各方面より高い評価を得ている。

【公職】IoT検定制度委員会メンバー(委員会主査)

【著書】「知識ゼロからのIoT入門」(2019年 幻冬舎)

「工場・製造プロセスへのIoT・AI導入と活用の仕方」(2020年 技術情報協会) [共同執筆]

『やさしく知りたい先端科学シリーズ9 「IoTモノのインターネット(モノ・コト・ヒトがつながる社会、スマートライフ、DX推進に活用中)」』(2021年 創元社)

「プラントのDX化による生産性の向上、保全の高度化」(2022年 技術情報協会) [共同執筆]



## 組織のDX推進度のチェック結果 (セミナー内での演習で診断が可能になり、下記の様な結果が得られます)

### 【「DX推進指標」のチェック結果】

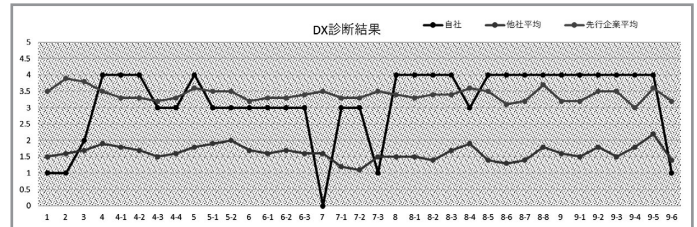
下記は、他社の「DX推進指標」のチェック結果などを元に、総合的に判断した内容です。参考にしてください。また、他社平均と比較したグラフ(右)も確認ください。

一部の戦略的な実施は出来ているものの、改善の余地があります。弱点を理解し、対応策を考えて下さい。

項目間のバラツキが大きいです。弱点をカバーできるように総合的な推進が必要です。「経営陣によるビジョン作成、コミットメント」の領域についての推進方法について、見直しを図る必要があります。

特に下記の項目についての推進方法について、改善を図る必要があります。

- 「DXでの顧客視点での価値創出に向け、ビジネスモデル/業務プロセス/企業文化改革の経営者自らがリーダーシップを発揮」



## お申し込みについて

定員になり次第、申込受付を終了します。お早めにお申し込みください。

1



パソコン(各種検索サイト)からダイレクトで

セミナーID(半角数字)

JMA151541

で検索

もしくは、<https://school.jma.or.jp/>

※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申し込みが難しい方は  
JMAマネジメントスクールまでお電話にてお問い合わせください。

TEL: 03(3434)6271

2



スマートフォン  
タブレットから



### 参加料 (消費税込)

一般社団法人日本能率協会法人会員	55,000円/1名
上記会員外	61,600円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。

※法人会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。  
<https://www.jma.or.jp/membership/>

※参加申込規定はJMAマネジメントスクールのWebページ(<https://school.jma.or.jp/>)に掲載しておりますのでご確認ください。

### キャンセル・参加日程変更の規定

キャンセルご連絡日	キャンセル料	日程変更手数料 (年度内一回限り)
開催15日前～開催8日前 (開催当日を含みます)	参加料の10%	無 料
開催7日前～前々日 (開催当日を含みます)	参加料の30%	5,500円(税込)
開催前日および当日	参加料の全額	7,700円(税込)

参加日程の変更については、変更後の日程で確実に参加することを条件に1回のみ可能といたします。

電話でご確認後、所定のお手続きをお取りください。万が一キャンセルの場合、初回のお申出の日付により上記キャンセル料が発生します。なお変更後の日程のキャンセルの場合も上記キャンセル料を申し受けますのでご了承ください。変更は同一年度内(4月～翌年3月)に限ります。

(注) 変更・キャンセルの場合は必ずJMAマネジメントスクールのお問い合わせフォームよりご連絡ください。

### プログラム内容に関するお問い合わせ先(企画担当)

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター

〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22 TEL: 03(3434)1410(直通)

### オンライン受講のご案内

- テレビ会議ツール「Zoom」で配信します。  
事前に接続テスト <https://support.zoom.us/hc/ja/articles/115002262083> にアクセスいただき、動作をご確認ください。
- 1申込につき1名様でご受講ください。  
(著作権の観点から1申込で複数の方のご受講はお受けいたしません)
- ビデオンできる環境をご用意ください。イヤホンやヘッドセット、外部スピーカーを使用しての受講をおすすめします。
- お申し込み時、参加される方のメールアドレスを必ず登録してください。
- テキストは事前に配布します。
- 本セミナーの講義資料および配信映像の録画、録音、撮影など複製ならびに二次利用は一切禁止です。
- Zoomにおけるリモート制御ならびにレコーディング機能はホスト側にて停止させていただきます。
- お申し込みの前に必ず規約 (<https://school.jma.or.jp/pa/caOrE>) をご確認ください。お申し込み完了を以て規約に同意したものといたします。

**参加定員** 20名(参加人数が最少催行人数に達しない場合は、延期もしくは中止にさせていただきます。)

### 会員制度のご案内

一般社団法人日本能率協会は法人を対象とした法人会員制度を設け、セミナー参加料割引をはじめ各種サービスを提供しております。是非この機会にご入会をご検討ください。  
詳細は <https://www.jma.or.jp/membership/>

### 申込に関するお問い合わせ先(参加証・請求書・キャンセル・変更などに関する内容)

JMAマネジメントスクール TEL: 03(3434)6271

電話受付時間 月～金曜日9:00～17:00 ただし祝日を除く

E-mail: [seminar@jma.or.jp](mailto:seminar@jma.or.jp) FAX: 03(3434)5505